

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

①施策名〔施策小〕	1 自立した財政基盤の確立	②施策番号	0601
③まちづくりの方向〔政策（章）〕	6 みんなでまちづくりに取り組むまち		
④基本施策〔施策大（節）〕	3 将来にわたって安定した行政サービスが提供できるよう、計画的で健全な財政運営をおこなうまちをめざします		
⑤基本的方向〔施策中〕	1 財政運営の強化		
⑥担当部名	⑦担当課名		
会計課	会計課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

①施策の対象（誰、何に対して施策を実施するのか）	公金
②意図（対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか）	歳入・歳出状況を掌握し、余裕のある資金は確実かつ有利な方法で運用し、更なる歳入の確保を行い、財政運営の安定を図る。
③環境（この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか）	災害復旧費、社会保障費、社会インフラ等の増加が財政の硬直化も招くことになり、更なる財政運営の強化が必要となる。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標（成果指標）		単位	指標とした理由・考え方
①	適正・正確に執行した割合 計算式 支出件数÷証票書類枚数×100	%	収入・支出関係証票書類を審査・確認し、収入・支出を適正・正確に執行することにより、安定した行政サービスが提供され、財政運営の健全化が図られる。
②	一時借入金支払利息 計算式 借入金元本×借入利息×借入日数/365日	千円	資金需要の予測に基づき、資金が不足すると見込まれる場合に必要最小限度の一時借入を行っている。資金需要の予測精度をより向上させることで利息を抑制することにより一層の財政運営の安定につながる。
③	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R2目標	備考
①	適正・正確に執行した割合	%	目標値	100	100	100	100	100	
			実績値	100	100	100	—	—	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
②	一時借入金支払利息	千円	目標値	485	558	2,000	2,000	2,000	資金不足時において基金からの一時借入運用等を活用し、金融機関からの一時借入利息を減少させる。
			実績値	558	997	971	—	—	
			達成率	115.1%	178.7%	48.6%			
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費（千円）			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R元実績	R2見込	H30実績	R元実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	会計事務事業	適正・正確に執行した割合	%	100	100	100	38,367	30,779	30,877	A	ア	◎
2	資金管理運用事務事業	一時借入金支払利息	千円	997	971	2,000	3,571	3,439	4,468	A	ア	○
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	2						41,938	34,218	35,345			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	公金を適正かつ効率的に管理運用することにより財政運営の強化が図られる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	今後においても年度間の資金不足について、様々な資金調達の方法を検討し、一時借入金利の減少に努める。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	金利の変動等、様々な状況を把握し、適切な会計処理を行うことは、市の役割であり、団体等との役割分担はない。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	概ね適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	会計事務を適正、正確に執行することが最重要であり、加えて歳入・歳出状況を把握することで、一時借入金支払利息の縮減ができ、余裕資金を運用することで、利息を得る事ができるため、更に事業をすすめていく。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	基金の一時繰替運用を積極的に行って資金不足に対応し、一時借入金利の縮減を図る。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	基金の一時繰替運用に向け実情把握に努める。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	支払金額や時期を考慮して、資金に余裕のある期間については短期間であっても大口預金にて運用する。
中長期的対応 (3～5年をめどに取り組む改善案)	備品等の資産管理を行い公会計に対応する。 中長期的な財政見通しを考慮し、有利な財源で資金運用を行う。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	適正な収入・支出と一時借入金利の縮減、及び基金運用により適正かつ効果的・効率的な資金管理が適切に行われている。 収入、支出事務の適正かつ正確な執行の確保のため、引き続き職員向け研修や情報発信等の取組を実施されたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある